

駒の館だより

明治鍼灸大学図書館報

第24号

平成17年3月1日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-0392 京都府船井郡日吉町

TEL. 0771-72-1181 (代)



目次

- ① 巻頭随筆「ブックディテクションシステム」 松浦 忠夫
- ② 自著を語る
『図解スポーツ鍼灸臨床マニュアル』 松本 勅
電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際 廖 登捻
- ③ 私のお薦めの1冊
「患者見殺し 医療改革のペテン」 竹内 義享
治る力を呼びさます 統合医療のすすめ 廣 正基
- ④ 特集1
通勤事情 大藪 秀昭
- ⑤ 特集2
「京都新光悦村」に思いを馳せて 北小路博司
- ⑥ 新着図書案内一覧 附属図書館
- ⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記 //



「ブックディテクションシステム」

附属図書館長 松浦 忠夫

昨年はオリンピックで日本選手が大活躍してくれたのは嬉しいことでしたが、相次ぐ台風の襲来、引き続き新潟中越地震と大きな災害に見舞われた年でもありました。これら災害で被災された本学関係者に遅ればせながら心からお見舞い申し上げます。

ところで、皆様すでに御存知のように一昨年9月より本図書館に「ブックディテクションシステム（図書無断帯出警報システム）」が設置されました。図書館はいずれも図書の紛失問題への対処という共通の課題を抱えています。本図書館も例に漏れずこれまで年間平均30冊前後（約15万円）の図書が紛失していました。それも利用頻度の高いものが多かったので影響も大きかったです。それがシステム導入一年後の昨年は2冊（約7千円）に激減。学部・学科の増設によって利用者が増加している中でこの結果には目を疑いました。これはシステムの設置を期に図書の取扱いに気をつけて頂いた結果だと思われます。これまでの紛失図書のtitleを見ますと、実験・実習のレポート

作成の参考に、あるいは試験勉強の為に、と軽い気持ちで館外に持ち出し、皆で使い回しているうちに行方不明、ということになっていた事例が多かったのではないかと思います。

今でもその様な時期になると警告音を聞くことが多いのです。この度の紛失図書の減少は、皆様のちょっとした注意が図書館の利用環境の変化に大きな影響を及ぼすという好例の1つだと言えるでしょう。今後とも快適な環境維持にご協力宜しくお願いいたします。



ピロウドモウズイカ（薬草）

学名 Verbascum Thaisus L.
ゴマノハグサ科

金色の花をびっしりとつけて、道端や日当たりのよい斜面などでみかけます。この草は人の背丈よりも高くなります。

（効能）

鎮痛作用・喘息・呼吸器障害・胃痙攣・神経痛・外傷等



自著を語る



『図解スポーツ鍼灸臨床マニュアル』



老年鍼灸医学教室
松本 勅

松本 勅 著、医歯薬出版(株)、
2003年刊 A B版 2色刷 178 頁
定価：10,000円
スポーツ傷害の病態と鍼灸治療に
ついて分かり易く解説！

近年、スポーツ傷害の治療、予防及びコンディションの調整を目的に鍼灸治療を利用する者が多くなり、鍼灸の新しい分野として注目されてきています。このような状況の中で鍼灸師が対処してゆくためにはかなりの専門的知識、技術が必要になります。スポーツ傷害の書籍としては、スポーツ傷害専門医が書いた専門書がいくつかありますが、内容は医師向きであり、触診を主体として局所の病態を調べ、さらに鍼灸治療のアプローチを行うための鍼灸臨床の著書は極めて少ないのが現状です。またあっても遭遇する頻度の高い代表的なスポーツ傷害を取り上げているのがほとんどですが、臨床における病態

の把握、鑑別のために全身のあらゆるスポーツ傷害を取り上げて平易に記述し、鍼灸師がベッドサイドにおいて臨床に即利用できる『鍼灸臨床のための専門書』が必要と考えられます。

著者は、前著の「現代鍼灸臨床の実際（医歯薬出版から出版中）」の中において主要ないくつかのスポーツ傷害についても記述しましたが、スポーツ傷害のほとんどを網羅した鍼灸臨床の専門書として本書を出版しました。本書は全身のそれぞれの部位の運動と発生する傷害、鍼灸師としての診察法、鍼灸治療および併用療法について述べてあります。各部位の機能解剖も詳しく図解して理解が得られ易いように配慮しましたので、1、2年生の時から見ると解剖の勉強にも役立つと思います。前著と同様にベッドサイドで長くご利用頂き、鍼灸臨床に役立てて頂けることを願っております。

【内容】総論、頸部・肩・肘・手首・手・胸部・背部・腰部・殿部、骨盤・股関節・大腿・膝・下腿・足首・足の各部位のスポーツ傷害と鍼灸治療。

【図解】
スポーツ鍼灸臨床マニュアル

松本 勅

医歯薬出版



医歯薬出版株式会社

電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際



生理学教室
中山 登揔

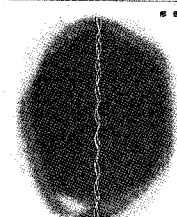
廖 登揔 著、医歯薬出版、1999
年刊
B5版、264頁、定価6,510円

最近の科学の進歩には目をみはるものが多い。クローン技術の発展やヒト遺伝子の解読終了などゲノムの生物医学分野では次々の朗報が聞かされた。一方、人間社会は医学の進歩や食生活の向上に伴って高齢化が進み、高血圧や慢性疼痛疾患など様々な病気への罹患率が高くなってきた。このため、高齢者やそれらの患者に対する安全かつ副作用の少ない代替医療が求められてきており、そのブームは徐々に世界中に広がっている。そのなかでも、電気鍼刺激、経皮的電気神経刺激（TENS）、低出力レーザー刺激など物理療法が注目されつつある。これらの治療法の目的は、痛みを緩和しながらヒトの免疫力を賦活し、自然治療力を高め、健康を促進させることにある。そこで、著

者はこれらのことを鑑み、少しでも東洋医学の発展に寄与するべきと考え“電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際”を執筆した。

本書の前半は電気鍼、TENS とレーザー治療の基本知識、さらに痛みの生理学について述べ、後半は刺激部位や臨床例をあげて応用面について説明している。理論から臨床へと一貫性をもたせていることが本書の特徴である。おかげさまで、出版してから4年の歳月を経過し、第2刷が印刷されて順調に滑り出すことができた。しかし、科学の進歩は速く、電気やレーザー刺激装置の技術発展や刺激効果の解明なども継続的に行われている。本書の内容が時代の流れに遅れないため、内容の一部を改定する必要性があると思われる。これからも現代社会に相応しい資料を揃え、さらに充実した内容の本書を世に送り、教育や医療の現場で活躍されている方々に本書が活用されることを願います。

電気鍼・TENS・
レーザー鍼療法の実際



医歯薬出版株式会社

私のお薦めの一冊

「患者見殺し 医療改革のペテン」

崎谷博征著、光文社、2004年刊

今回の推薦書にさせて頂いた理由は2つある。まず、本著はタイトルが余りにも生々しく戸惑いを感じるところがあったが、極めて新しい資料に基づいた2004年8月発行の書であること。次に、内容が医療従事者や一般の人々にとって得られにくい情報を多く含有しており、医療関係者としては当然理解しておくべき内容と考えられたことにある。



短期大学部
柔道整復学教室
竹内 義享

その主な点は、現在の日本の医療（制度）が崩壊寸前であること、医療ビッグバンと呼ばれ

る医療制度の抜本的改革と国民皆保険の解体が進行中であることが挙げられる。詳細は本書を読まれることだが、多方面から様々な資料を提示し、現在の医療制度の矛盾と今後の医療の進む方向性を推測している。

例えば、ISOの取得、病院機能評価の取得が挙げられ、前者は医療機関における医療サービスの質と仕組みを審査する、後者は設備も含めた医療機関が一定のレベルに達しているかどうかを審査するものである。この取得の有無は後に保険診療収入の減額に影響を及ぼすとされており、ちなみに、認定の権限は厚生労働省の天下り組織「日本医療機能評価機構」が持っている。一方、現場においては近年、治療の実践以上にカルテの記載を含めた書類による報告が膨大となっており、業務を終えてから残業の中で報告の記載が行われている。さらに、医療訴訟の急増、製薬会社の「ソロ新」を利用した薬価基準制度の矛盾と薬物療法による弊害、X線がもたらすガンの発生率など各論についても問題提起を行っている。最後に、著者は代替医療・予防医療の重要性を挙げており、アメリカで既に東洋医学に注目した研究が急激に進んでいる中、わが国ではその良さに気づいておらず、予算の増加が急務であるとしているのが救いであった。



治る力を呼びさます

統合医療のすすめ

山本竜隆著 東京堂出版 2004年刊

現代医学の効率的・要素還元手法の限界、生活習慣の改善、医療費の軽減などの背景から国民の健康志向が高まり、代替医療（Alternative Medicine）が注目を浴びるようになってきました。「精神・身体・環境が調和し、与えられている条件において最良の QOL（Quality of Life：生活の質）を得ている状態」をめざすホリスティック医学を実践するには、西洋医学の専門分野のさまざまな長所を合わせた医療に東洋医学や代替医療を取り入れ、患者中心の医療を提供するために、統合医療（Integrative Medicine）が重要とされています。

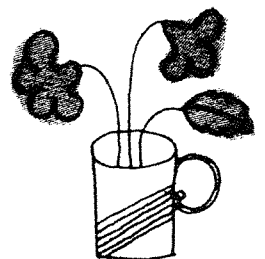


健康鍼灸医学教室
廣 正基

ここでは、注目される代替医療として、生活環境や

人間関係を改善する療法（温泉療法、音楽療法、カウンセリングなど）、食べものや飲みものを用いた自然療法（漢方薬、栄養補助食品など）、体を動かす療法（運動療法、太極拳など）、主に心に働きかける香りやイメージ療法（アロマセラピー、イメージ療法など）、直接体に接触する療法（鍼灸、あん摩、指圧、マッサージなど）が紹介されています。

現代西洋医学の従事者からの代替医療への懐疑的、否定的意見、代替療法家からの西洋医学への批判的あるいは代替医療に否定的な立場をとるような壁や溝をなくして、医療従事者がお互いの専門領域を尊重しつつ、代替医療と連携して治療にあたることで、真の統合医療が実践されます。そのためにもわれわれ鍼灸医学はエビデンスに基づいた鍼灸治療効果を出し、代替医療の代表として一歩前進した存在にするとともに、他の代替医療の長所を知りそれぞれに歩みよることが重要です。その導入の一冊としてお薦めします。



通勤事情



歯科学教室 大藪 秀昭

明治鍼灸大学に赴任して早15年が経った。15年で約3000日通勤したことになる。長岡京市から車で来るのだが、通勤に要した走行距離を概算してみると約30万kmである。地球を7周半走って来たことになる。もう3,4年すれば月まで行ける。こうしてみるとたいしたものである。初めの頃は、夏にオーバーヒートで1台、冬に雪のスピンドで1台、車を没にした。

しかし、ここ数年は事故もなく、すっかり車通勤にも慣れて、運転してきているというより、車に乗れば手足が勝手に動いて気が付けば病院に着いていた、といった感じである。ところが、ある事情で30日間免許がなくなり、16年目にして初めて電車通勤しなければならないようになった。車なら



ら1時間で来ることが出来るが、電車なら2時間かかる。うんざりした気持ちで電車通勤を始めた。ところが結構新鮮であった。車から見るのと全く違う風景がある。嵯峨野線は京都駅を出るとまもなく高架を走る。京都市西部を見渡しながら北に向かう。竹林に包まれたかと思うとトンネルに入る。子供の頃蒸気機関車に乗ってこのトンネルを貫け、保津峡へ行ったことを思い出す。亀岡に抜けるまでトンネルは5つある。5つというより、長いトンネルが4箇所途切れている。その4箇所保津峡の景観が一瞬望める。まるで4枚のスライドを見ているようだ。スライドの色調は毎日

変わる。

亀岡に出ると、田園風景が広がる。亀岡駅の手前にはこの季節、コスモス畑が鮮やかだ。そして、八木あたりから一挙に鍼灸大生が増え、貸しきり車輻化してくる。現実に引き戻されながら鍼灸大学前に着く。駅から見る鍼灸大学は樹木と建物のバランスがとてもいい。誰がコーディネートしたのだろうか？構内に居ては

わからないが、遠くから見ると、センス良く調和している。ある事情のおかげで、車のフロントガラスから見るのと違った風景に出会えた。しかし数日するとまたハンドルを握っているだろう。そしてまた走行距離を重ねていく。通勤距離の積み重ねだけでなく、仕事も誇れるような積み重ねをしたいもの

のだ。月まで行ってそして地球に帰ってくるくらいまでは無事にしっかり働きたいものだ。

「京都新光悦村」に思いを馳せて



臨床鍼灸医学Ⅱ教室 北小路 博司

私が、数年前、京都縦貫道園部ICの「京都新光悦村」の看板を目にしてからの回想を、私の思い出とともにお話しようと思う。

【陶芸】

30余年前、陶芸に興味を持ち家の近くにある美術館（滴翠美術館）の陶芸教室に出入りするようになった。（興味は陶芸なのか、そこに集まる若き女性なのかはハッキリしない・・・）

当時、私は釉薬配合表（釉薬のテストピース）の作成、薪割りなど、いわゆる雑用をしていたのだが、陶芸という芸術界の中に自分が存在しているという曖昧で不確かな空間が気に入っていた。

陶器は、いわゆる民窯（窯の成り立ち目的：民が日常生活する雑器を焼く窯）の作品が好きである。なかでも素朴な作風の「唐津焼き」が大好きで、十分な旅費もないのに佐賀県唐津の「中里の窯」へ足繁く通った。

このように、私は陶芸に興味があったことにより、著名な陶芸家の名前は知っていた。それが、後に疑問を抱くようになるとは・・・。

【看板】

この話を書くきっかけとなった出来事であるが、私は、車で通勤をしている為、京都市内から京都縦貫道に入り、園部ICで降りる。本線から左に外れて市道へ進む間、正面の山に「京都新光悦村」の看板があった。

その当時は、まだ園部の道の駅は無く、とても疑問に思っていたが、その後、「道の駅京都新光悦村」が作られた。「ああ、道の駅の名称か！」と納得していたのであるが、同時に「光悦」という名称は陶芸家の「楽茶碗・光悦」で引っかかり、やっと謎が解けたはずの私に、疑問がまたひとつ増えたのだ。

【本阿弥光悦】

本阿弥光悦（ほんあみ こうえつ 1558～1637）について調べてみた。

永禄元年（1558）、京都に生まれ、安土桃山・江戸時代初期に活躍した芸術家である。京都の三長者（後藤、茶屋、角倉）に比肩する富豪で、代々、刀剣の鑑定・磨き・浄拭を家職とした本阿弥家に生まれる。和

学の教養と独自の書風（光悦流）を身につけて、美術工芸面に金字塔をうち立てた。1615年（元和元年）徳川家康より洛北鷹が峰の地所を与えられ移住し、〈皆法華〉の芸術家村を築いた。光悦は、この芸術村を中心として、書を初めとし、絵画・陶芸・漆芸と、多くの分野で文化を高めるために独創的な芸術品を創成した。また、平安時代から連続と続く伝統文化を再認識し、そこに革新的な手法を融合させて新たな京都文化を創り出したのだ。

彼らが残した技法と精神は400年後の今日にまで受け継がれ、斬新で自由闊達な発想は、モノづくりのまち 京都の文化や伝統の中に今も燦然と輝き続けて、職人や商人等の気質に大きな影響を与えている。

「本阿弥光悦」は、単に陶芸家ではなく、わが国のルネサンス（文芸復興）の祖であった。

【京都新光悦村とは】

京都府は、日本の芸術や工芸の発展に大きく貢献した、「光悦の築いた芸術村」の精神を継承し、これからの産業やモノづくりのあり方を示す新しいスタイルの産業拠点として、園部町に創る構想こそ

が「京都新光悦村」であったのだ。詳しくは、(<http://www.pref.kyoto.jp/industry/shin-koetsu/index.html>)へ

「京都新光悦村」看板の謎は解けた。「光悦」とは単に陶芸家だけではなく、芸術や工芸へ大きく貢献した精神そのものであったのだ。やっと私の、心のモヤモヤが晴れた。園部町の「光悦村」構想の今後を見守りたい。

【丹波国の丹波康頼】

先人が残した「考え方」、「システム」を現代に活かそうという考え方には芸術という枠を越えた普遍性がある。日本医学は、丹波国（亀岡～丹波の地域）で984年に鍼博士丹波康頼（912～995）によって医学全書『医心方』編纂された。室町末期から安土桃山期には曲直瀬道三（1507～1594）らが京都で医学舎『啓迪院』を創建した。このように京都は医学の発展の地である。

丹波国に位置する明治鍼灸大学は、先人の精神を継承し、かつ新たな鍼灸医学の実践により進化を遂げる地でありたい。



新着医学系図書・視聴覚資料一覧

(平成16年1月～12月収録分)

書名	著者名等	出版社
柔道整復白書 伝統医療の継承と明日への飛躍	柔道整復白書編集会 編集	(社)日本柔道整復師会
末梢神経損傷/マイクロサージャリー 第8巻	S.テリー・カナリ原著編集者/	エルゼビア・ジャパン
手 第9巻	S.テリー・カナリ原著編集者/	エルゼビア・ジャパン
自然治癒力 免疫力を高める食生活	ほんの木 編	ほんの木
デトックス効果 ツボ+経絡 リンパマッサージ	五十嵐康彦	新星出版社
園芸リハビリテーション 園芸療法の基礎と事例	山根寛 ほか/菅由美子 企画	医歯薬出版
大腿骨頭壊死症 診断と関節温存手術	杉岡洋一 監修/渥美敬 編集	メジカルビュー社
整形外科ナースのための知識と実際 改訂3版	飯田寛和 編著	メディカ出版
骨折と外傷 治療の考え方と実際	山野慶樹 編著	金原出版
標準整形外科学 第8版	石井清一 監修/平澤泰介 監修/	医学書院
柔道整復用語事典	西基 総監修	海馬書房
はりきゅう理論	教科書執筆小委員会 著/東洋療	医道の日本社
はりきゅう実技〈基礎編〉	教科書執筆小委員会 著/東洋療	医道の日本社
代田文彦先生追悼集	代田文彦先生追悼集 刊行会	代田文彦先生追悼集 刊行会
言語障害 失語症・運動障害性構音障害・嚥下障害・脳性麻痺の言語障害 第	笹沼澄子 編/柴田貞雄 ほか 著	医歯薬出版
脳卒中 その他片麻痺 第2版	福井園彦 編	医歯薬出版
運動療法 第3版	大井淑雄 編/博田節夫 編	医歯薬出版
整形外科クルズス 改訂第4版	中村耕三 監修/織田弘美 ほか	南江堂
あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師柔道整復師国家試験 臨床医学各論	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	桐書房
症例から学ぶ肩疾患 成書にはない診断・治療のポイント Part3 腱板損傷	肩症例検討会 編集	金原出版
現代リハビリテーション医学 改訂第2版	千野直一 編者	金原出版
経筋療法 経絡への運動学的アプローチ	富田満夫	創風社
軽く揺らすだけで痛みが消える! 関節法の原理と応用	松原秀樹	知道出版
「長命整体」の潜在力 なぜ万病に挑めるのか!	鏡 玄泉	知道出版
誰も書かなかった整体学 現代を、生き抜くための整体論	宮川真人	彩図社
「長命整体」なら治しきれぬ! 整体はここまで進化した	浮 江東	知道出版
中国導引整体教室「自己診断法と病気の予防」編	柳田錦秀	インターワーク出版
整形外科超音波診断アトラス 改訂第2版	日本整形外科超音波研究会 編集	南江堂
柔道整復概論	菅原勇勝	ヘルス・システム研究所
柔道整復治療法 I	菅原勇勝	ヘルス・システム研究所
柔道整復治療法 II	菅原勇勝	ヘルス・システム研究所
整形外科非観血的治療法のコツー私はこうしているー下巻 外傷	室田景久 編者/矢部 裕 編者	全日本病院出版会
決定版ツボ・マッサージ百科 体の悩みは自分で解消!家族みんなで活用でき	主婦の友社 編者	主婦の友社
速効ツボ療法 身の回りグッズフル活用	赤司洋子	家の光協会
身体に無理なく痛みがとれる自然形療法のスべて 現代医学の常識を打ち破	渡辺葉子	現代書林
40歳から読む骨の病気	赤松巧也	ブレーン出版
改訂版 あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師国家試験	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	桐書房
あなたを変える整体 カラダとココロをほぐす小池流20のポイント	小池太郎	大村書店
柔道整復用語事典	西基 総監修	海馬書房
柔道整復理論一問一答 柔道整復師国家試験完全対策	目時 誠	医道の日本社
初めて学ぶ人のためのカイロプラクティック学の入門	村上一男/生井利幸 ほか	とりい書房
骨・関節疾患	堀内行雄 編者	日本医事新報社
変形性股関節症の運動・生活ガイド 第3版 運動療法と日常生活動作の手引	杉岡洋一 監修/岩田久 ほか 編	日本医事新報社
沢田流聞誌 鍼灸真髄	代田文誌	医道の日本社
手技治療のための筋肉反射テスト 基本編 律動法(生体律動調整法)方式筋	茂木 昭	たにぐち書店
鍼灸マッサージに於ける医療過誤 現場からの報告	藤原義文	山王商事
経絡経穴概論	(社)東洋療法学校協会 編/教	医道の日本社
カンタンにできる足のツボ刺激療法 症状別刺激ポイントで効果抜群!	大堀和三	日本文芸社
鍼灸禁忌マニュアル	矢野 忠 編集/江川雅人 執筆/尾	医歯薬出版
超鍼灸法 特効穴治療を越えるもの	山本敏男	六然社
針灸医学の科学的視点	清水 蓮 編著	たにぐち書店
あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師柔道整復師国家試験 臨床医学総論	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	桐書房
自然治癒力・免疫力が高まる生活習慣のすすめ	ほんの木 編	ほんの木
骨格バランス健康法	城戸淳美	主婦と生活社
リハビリテーション医学テキスト	三上真弘 編集/石田暉 編集	南江堂
リハビリテーション ゴールへの至適アプローチ	Stanley Hoppenfeld ほか/江藤	南江堂
実践の骨折治療 患者の疑問と治療者の悩み	加藤佑吾	金原出版

神中整形外科 上巻 総論・全身性疾患 改訂22版
 神中整形外科 下巻 部位別疾患 改訂22版
 ロックウッドに学ぶ骨折ハンドブック
 足のクリニック 教科書に書けなかった診療のコツ
 関節ニュートラル整体
 整形外科研修マニュアル
 手のツボ健康療法 とっさのときでも、いつでもどこにいても、自分一人でもでき
 鍼の道——内科医の青春
 標準整形外科 第8版
 標準リハビリテーション医学
 標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論
 “体をゆるめる”ととんどん元気になる！ 朝晩のやさしい整体法 滞っている
 手のツボ健康療法 とっさのときでも、いつでもどこにいても、自分一人でもでき
 自然治癒力・免疫力が高まるかんたん健康・運動法
 整形外科医が書いた正しいカイロプラクティック
 痛みのモトは他にあった！ 井関式ミラクルピンポイント整体法
 整形外科学用語集 第5版増補
 鍼のひびき灸のぬくもり 癒しの歴史
 はり師、きゅう師国家試験問題解答集 平成17年(2005年)年度用 第1回～12回(第6回～第12回 詳解・国家試験問題集 2005 はり師・きゅう師用
 「経絡経穴」合格プラン—あん摩マッサージ指圧師— 2005年版・国家試験対策
 ヒーリングエネルギーで健康回復 心と体をいやす簡単気功法
 インディアンヘッドマッサージ 世界的第一人者のチャンピオン・テクニク
 第6回～第11回 詳解・国家試験問題集 2005 柔道整復師用
 骨盤輪・寛骨臼骨折治療実践マニュアル
 肩診療マニュアル 第3版
 写真で学ぶ整形外科テスト法 増補改訂新版
 足診療マニュアル 第2版
 股関節のゆがみを正せば病気は治る
 小児整形外科
 骨の病気と付き合いには 本人と家族のために
 鍼灸マッサージに於ける医療過誤—現場からの報告
 あなたも今日から健康達人 足裏健康法と健康遊歩道
 指圧 指と手の隠されたツボで美容と健康に効果的
 心の自然治癒力
 The Location of Acupoints (中医針灸経穴部位●准化)
 他

杉岡洋一 監修/岩本幸英 編著 南山堂
 杉岡洋一 監修/岩本幸英 編著 南山堂
 ケネス・J・コヴァル ほか/玉井 メディカル・サイエンス
 井口 傑 南江堂
 及川雅登 ベースボール・マガジン社
 戸山芳昭 編集/松本秀男 編集 南江堂
 浜口ひさ子 ごま書房
 高島文一 思文閣出版
 石井清一 監修/平澤泰介 監修/医学書院
 上田敏(ほか)編/津山直一 監 医学書院
 岩崎テル子 編集/矢谷令子 シリ医学書院
 井本邦昭 青春出版社
 浜口ひさ子 ごま書房
 ほんの木 編 ほんの木
 竹谷内宏明 五月書房
 井関光男 主婦と生活社
 日本整形外科学会学術用語委員会 南江堂
 長野 仁 解説 内藤記念くすり博物館
 あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師 桐書房
 明治東洋医学院編集委員会 編 医道の日本社
 ましらの会 編/中村ともみイラ 源草社
 上月節子 神戸新聞総合出版センター
 ナレンドラ・メータ/赤星里栄 産調出版
 明治東洋医学院編集委員会 編 医道の日本社
 弓削大四郎 全日本病院出版会
 橋本克哉/信原 淳 医歯薬出版
 ショセフ・J・シブリアーノ/斎 医道の日本社
 藤井英夫/前澤範明 医歯薬出版
 磯谷圭秀/前田華郎 監修 日本文芸社
 越智隆弘/菊池臣一 金原出版
 山中良孝 編集/清野佳紀 監修 メディカルレビュー社
 藤原義文 山王商事
 阿部俊一 本の友社
 キャシー・メーウス/乙須敏紀 産調出版
 ほんの木 編 ほんの木
 Foreign Languages Press

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

医学看護用語変換辞書 Ver.1.0 かな漢字変換 CD-ROM版
 今日の診療プレミアム ハイブリットDVD-ROM版 Vol.13
 今日の診療プレミアム ハイブリットDVD-ROM版 Vol.13
 ヒトとは 身体を構成するもの
 ヒトとは 外部情報の獲得と精神機能
 ヒトとは 随意運動のしくみ
 ヒトとは 生命を継ぐ
 生命の維持システム 血液循環の機能
 生命の維持システム 栄養の摂取と利用
 人体の防御システム 内部環境の維持
 人体の防御システム 防御のしくみ
 上肢
 下肢1
 下肢2
 体幹1
 体幹2
 頭頸部1
 頭頸部2
 口腔・眼・耳
 胸部の臓器・生殖器
 腹部の臓器
 手技治療のための筋肉反射テスト 基本編 TRテスト診断法と母指 小指対立
 他

医学看護用語変換辞書編集部 医学書院
 医学書院
 医学書院
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 高松 研 監修 医学映像教育センター
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 Robert D.Acland 解説/福林 徹 ジャパンライム(株)
 茂木 昭 指導・監修/律動法研究 たにぐち書店

図書館からのお知らせ

共通閲覧証の利用について —他学(私学)の図書館利用希望の方—

共通閲覧証は他学の図書館を利用する(館内閲覧および複写を原則とする)際に必要な当館長の正式な紹介状に代わるものです。共通閲覧証を利用できる図書館は、私立大学図書館協会に加盟している京都地区の私学図書館、約40館です。

利用希望者又は詳細を知りたい方は受付までお申し出下さい。

図書は無断帯出等について

貸出手続きが終了していない図書を持ってゲート(ブックディテクション)を通過しますと無断帯出とみなされ、警告音が鳴ります。また、金属等に反応して警告音が鳴る場合もあります。

いずれの場合も警告音がなりましたら、速やかに受付までお越し頂き、担当者の指示に従って頂きますようご協力お願い致します。荷物棚まで未手続きの図書を持って、ということで警告される場合が多発しています。特に注意して下さい。

図書館のコピー機利用について

館内のコピー機は図書館資料の複写を目的に設置しております。利用の際は、著作権侵害にならないように注意して下さい。なお、図書館資料以外の複写は事務棟ロビーに設置のコピー機をご利用下さい。

平成15年度の収書・蔵書状況

- ・収書冊数：一般図書 1,056(11)、製本雑誌 396(175)、視聴覚資料 77(5) 合計 1,529(191)
- ・蔵書冊数：一般図書 42,352(8,637)、点字図書 1,404、製本雑誌 11,133(5,618)、視聴覚資料 1,602(110) 合計 56,491(14,365)
- ・雑誌タイトル数：学術雑誌 184(70) 一般雑誌 16 合計 200(70) ()は外国書で内数。

貸出図書年間ベスト3

【鍼灸学科学学生】

(期間2004年1月~12月)

順位	登録番号	書名、巻次、叢書名	著者名1	出版者	出版年月日
1位	B10007644	生理学	真島英信	文光堂	1979
//	B10032611	改訂版 あん摩・マツ	執筆小委員会 編著	医道の日本社	2001/08/10
2位	B10023149	現代鍼灸臨床の実際	松本 勲 著	医歯薬出版	1989/02/10
3位	B10020108	中医臨床のための舌診	神戸中医学研究会 編	医歯薬出版	1990

【柔道整復学科学学生】

1位	B10006091	やさしい生理学	岩瀬善彦	南江堂	1975
//	B10016556	生理学 改訂第17版	間島英信	文江堂	1985
2位	B10032770	イラスト解剖学 第3	松村謙児	中外医学社	2002/02/20
//	B10007644	生理学	間島英信	文江堂	1979
//	B10031882	標準整形外科 第7	寺山和雄 監修	医学書院	2001/04/01
//	B10017980	生理学 改訂第18版	間島英信	文江堂	1987
//	B10009838	上肢編 図説 整骨学	原 勇	南江堂	1982

3位	B10033083	第6回~第10回 詳解	明治東洋医学院編集委	医道の日本社	2002/07/07
//	B10034046	第6回~第10回 詳解	明治東洋医学院編集委	医道の日本社	2002/07/07
//	B10022121	標準生理学 第2版	本郷利憲 ほか編集	医学書院	
//	B10003708	やさしい生理学	岩瀬善彦	南江堂	1975
//	B10029137	理学療法士・作業療法	渡辺正仁監修	廣川書店	1999/03/15
//	B10010594	肩・上腕・肘 臨床整	室田景久 編	メジカルビュー社	1982
//	B10035134	ロックウッドに学ぶ骨	ケネス・J・コワアル	メディカル・サイエン	2004/05/26

【大学院生】

1位	B10031885	免疫生物学—免疫系の	Charles A. Janeway	南江堂	2000/10/20
2位	B10023772	鼻アレルギー 第2版	奥田 稔 著	金原出版	1992/04/25
3位	B10033218	人体の構造と機能	佐藤昭夫 編集	医歯薬出版	2002/01/10
//	B10032239	泌尿器系臨床コンパス	栗田 孝 監修	メジカルビュー社	2001/08/01
//	B10023800	エッセンシャル病理学	大西義久	医歯薬出版	1993/01/20
//	B10021488	神経生理学 第2版	Schmidt, R. F.	金芳堂	1991
//	B10032117	おかしい人を見分ける	マーサ・スタウト 著	はまの出版	2001/07/31
//	B10029109	なぜ「いい人」は心を	町沢静夫著	PHP研究所	1999/10/18
//	B10011530	精神科マニュアル	Spoerri, Theodor	文江堂	1980
//	B10027482	耳鼻咽喉科必携マニユ	石田 稔 著	金芳堂	1998/01/20
//	B10032717	現代臨床精神医学 改	大熊輝夫	金原出版	2002/02/28
//	B10026634	香りの整理心理学	S. ヴァントラー,	フレグランスジャーナ	1999/06/20
//	B10029978	不安障害, 感情障害,	上島国利,	ライフ・サイエンス	1999/09/10
//	B10024765	筋筋膜痛の治療 一ハ	C. Chan Gunn 著	克誠堂	1995/07/01
//	B10017982	免疫学イラストレイタ	Rchmidt, R. F. 編	金芳堂	1991
//	B10028178	感覚生理学 第2版	Schmidt, R. F.	金芳堂	1991
//	B10028178	脈状診のみかた考え方	橋本正博著	医歯薬出版	1995/10/20
//	B10034107	ストレス診療ハンドブ	河野友信 編著	メディカル・サイエン	2004/05/26

平成15年度図書館利用状況

1. 貸出件数

鍼灸学部・柔整短大部等(延べ人数)

区分	平成15年度実績									
	1年生	2年生	3年生	4年生	院生	卒研究生	その他	教職員	小計	
15年度	冊数	488	610	297	675	565	258	201	1065	4,159
	%	12%	15%	7%	16%	14%	6%	5%	25%	100%
14年度実績	冊数	765	654	263	903	451	203	215	881	4,335
	%	17%	15%	6%	21%	10%	5%	5%	21%	100%
人数	人数	326	483	207	454	184	100	68	297	2,119
	%	15%	23%	10%	21%	9%	5%	3%	14%	100%

* 鍼灸学部生・柔整短大生の長期貸出(上記表の内数)

受付期間	S		J		合計	
	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数
夏季休業(7月~8月)	201	17	123	13	158	16
	93	15	59	11	103	9
冬季休業(12月)	100	15	88	2	121	3
	76	11	159	8	88	2
春季休業(2月~3月)	111	5	111	5	159	8
	441	465	293	318	111	5
合計	441	465	293	318	465	318

2. 閉架資料利用件数(閲覧・貸出)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	その他	小計
人数	196	393	172	375	16	1,152
冊数	260	498	248	600	29	1,635

3. 文献複写(図書館間相互協力)

・受付件数 122件—2430枚 ・依頼件数 217件

4. 休日開館(土曜日等)の利用状況

・開館日数 35日 ・利用人数 34人

編集後記

今回の特集記事にもあったように、ここ丹波は鍼博士丹波康頼のゆかりの土地であり、京都においては曲直瀬道三が医学舎を建て、山脇東洋は鴨川で日本初の腑分けをした医学発展の地である。また現在、園部の京都新光悦村構想など光悦の築いた芸術村の精神を継承し、新しいスタイルの産業拠点にする構想があるようだ。

ここ日吉の地は日本初の鍼灸メッカであるわが大学があり、今、世界で代替医療が叫ばれるなか、本学が拠点となり鍼灸医学のEBMを蓄積して、代替・補完医療としての鍼灸の有用性を世界へ発信・貢献し、さらなる進展を遂げる京都の地となり、人材の宝庫でありたいと願っている。

T. N